

第3章

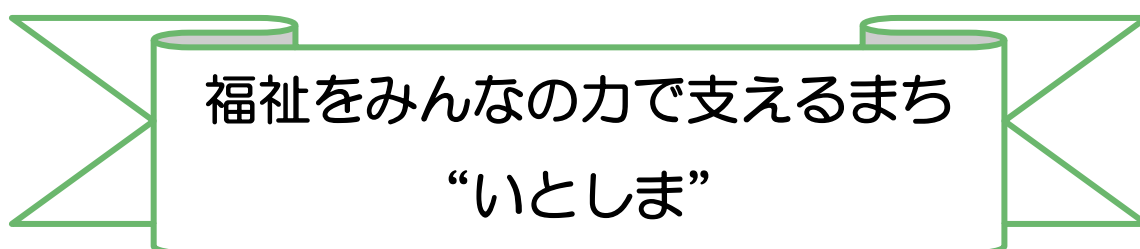
基本理念と基本目標

～みんなで目指すもの～

1. 計画の基本理念

地域にあるさまざまな生活課題について、住民、地域団体、関係機関、社会福祉協議会及び市が連携・協働して、それぞれの役割や特性を活かしながら、互いに助け合って解決していくことが求められています。

本市では、住民一人ひとりがそのことを理解し、行動できるよう、「福祉をみんなの力で支えるまち“いとしま”」を本計画の基本理念として定め、地域福祉向上を目指します。



2. 計画の基本目標

本計画では、「福祉をみんなの力で支えるまち“いとしま”」の基本理念を実現するため3つの基本目標を定めます。

これらの基本目標は、本計画を策定するにあたって実施した「地域福祉に関するアンケート調査」や「地域福祉推進のためのワークショップ」などから得られた意見を踏まえ、今後、私たちが目指していく方向性を示したものです。

3つの基本目標の中には、個人が取り組むこと、地域で取り組むこと、社会福祉協議会が取り組むこと、市が取り組むことを明記し、福祉をみんなの力で支えるまちとして、目標が実現できるよう進めていきます。

基本目標1

気づき つながろう 笑顔のささえあい

地域福祉を進めるにあたっては、地域福祉の担い手の育成や組織づくりが重要です。

一人ひとりの福祉力を高め、個人の悩みに気づき、助け合いの心でつながり、誰もが笑顔で支え合うまちを目指します。

また、地域の中にふれあいや交流のできる機会や場をつくり、みんなの福祉力を引き出すために、気軽に地域活動に参加できるような住民同士の助け合い、支え合いの仕組みをつくり、広がっていきます。

基本目標2

安心を とどけよう 充実の福祉サービス

安心して、いきいきと暮らすために、孤立死、認知症による徘徊行方不明、高齢者、障がい者や児童の虐待、消費者被害、自殺などの問題に、迅速かつ確実に対応することが重要です。

そのため、住民が利用しやすい窓口や総合的な相談支援体制を整備します。また、関係機関及び団体との連携強化を図り、地域と一体になった福祉サービスを充実させていきます。

基本目標3

より広く つたえよう みんなのもとへ

福祉サービスの内容や地域福祉活動の取り組みを、住民の視点に立ち、よりわかりやすく情報提供を行うとともに、地域交流を促進し、住民同士で情報を広く行き渡らせることが大切です。

そのため、若い世代への情報発信や、情報が届きにくい高齢者等が、必要な情報を簡単に得られる仕組みづくりを行います。

また、ワークショップなどを通じ、住民ニーズや地域の福祉情報の共有を図ります。